

日本鐵鋼協會記事

◎理事會

大正五年十月五日午後五時より本會事務所に於て理事會を開く出席者は

野呂會長 香村理事 俵理事

にして當日協議決定の次第左の如し

本會會誌と交換申出ありし諸雜誌は學會亦是協會より發行するものに限る承諾する事とし營業に係る雜誌類は凡て謝絶する事

自今編輯會議定日は毎月第一水曜日とする事

◎評議員會

大正五年九月二十五日午後五時より麴町區有樂町日本俱樂部に於て開催出席者は

野呂景義 原田鎮治 門野重九郎 桂辨三 種子田右八郎 俵國一 堤正義 寺野精一

外に出席申出不參の爲め委任されたるもの

香村小録 島安次郎 阪田貞一

の三人にして委任者共十一人當日決議の要領は

一 來る十一月三日立太子式舉行あらせらるゝ當日には會

長本會を代表して賀表を捧呈すること

但し他學會に於て捧呈せざるときは之に倣ひ中止すること

此他事務所建築寄附金募集の件其他評議の上午午後八時退散す

◎編輯會

大正五年十月五日午後五時より本會事務所に於て編輯委員會を開き會誌第二年第十號の原稿を選定せり當日出席者は

野呂會長 香村理事 俵理事 井上 川上 湊 各編輯委員諸氏なり

◎會務

豫て八幡製鐵所より米國へ出張せる正會員黒田泰造氏は本月九日歸朝せられたり

入會者 前回報告後本月二十日迄に入會を承認せし會員左の如し

入會者 (住所及職業)

東京市牛込區原町一丁目三十六番地

陸軍砲兵大佐 正會員 平 瀨 碩 六

福岡縣若松市濱町二丁目三番地

戸畑鑛物株式會社技師 同 矢 野 美 章

佐世保市上矢岳町十七番地	海軍機關大佐	正會員	增井敬次郎
佐世保市園田町三十四番地	海軍機關大佐	同	白井齊知
佐世保市福田町四十八番地	海軍機關中佐	同	岸本信太
茨城縣多賀郡日立鑛山	日立鑛山製煉課技士	同	有泉寛
佐世保海軍工廠	海軍造船大監	同	大久保立
東京市麴町區飯田町四丁目十一番地	東京砲兵工廠員	同	本田貞之助
大阪市西區島屋町汽車製造株式會社々宅	汽車製造株式會社技師長	工學士	出羽政助
東京府豐多摩郡大久保町西大久保四四五	月島東京鑄鋼所長	同	野俣寛治
南滿洲本溪湖	煤鐵公司探炭部長	工學士	岩瀬徳藏
福岡縣遠賀郡八幡町高見町製鐵所官舎	製鐵所副參事	准會員	膳桂之助
福岡縣遠賀郡八幡町槻田官舎四條町	製鐵所員技手	同	城戸五郎
福岡縣企救郡企救村大字蒲生九百十番地	製鐵所技手	同	佐野時造
大阪市西區江戸堀南通四丁目八番地	製鐵所大阪出張所書記	同	柿田量一郎
佐世保市清水町二十五番地	海軍機關少佐	同	小野徳三郎
神戸市中山手通一丁目三二二	海軍造船機中監	同	中野福三郎
佐世保市上矢岳町三十番地	海軍造船機大技士	同	熊倉貞
佐世保市上矢岳町三百二十九番地	海軍造船機大技士	同	土屋行藏
福岡縣八幡製鐵所門田官舎四十一號	製鐵所技手	同	丸逸馬
神戸市兵庫港町一丁目廿二番地	川崎造船所兵庫工場員	同	明松松藏
福岡縣遠賀郡八幡町門田	製鐵所檢査手	同	有田喜一郎
支那湖北省大冶鐵山	製鐵所出張所書記	同	松尾茂條
神戸市脇ノ濱町一丁目	神戸製鋼所員	同	饗庭琢

京都府南桑田郡藤田野村大谷鑛山	鑛業	准會員	黒本逸作
福岡縣八幡町製鐵所門田官舎	製鐵所書記	同	越山信太郎
神奈川縣川崎在日本鋼管會社製鋼課	同	同	堀籠重治
大阪砲兵工廠	陸軍技師	同	梶川重雄
大阪砲兵工廠	陸軍砲兵大尉	同	津田藤左衛門
吳海軍工廠	製鋼部員	同	野村孝久
吳海軍工廠	製鋼部員	同	中山龍生
廣島縣吳市三番町四丁目一番戸古川方	同	同	守田龍
廣島縣吳市八幡通二百三十八番地三宅庄太郎方	工業	同	加來三友
福岡市外東公園三角滿安イト方	九州帝國大學工科大学冶金學科選科生	同	柴田正雄
轉居 新住所左の如し			
神戸市葺合熊内町二十七番屋敷			腹卷五郎
東京府荏原郡大森町八景坂上二三〇			高松誠
東京府荏原郡大崎町上大崎七七五			内山民次
東京府南品川町淺間臺一五〇一			眞鍋良太郎
宮城縣亙理郡山下村十五番地			千石武雄
東京府下大久保町東大久保四一七			中野三夫
吳市吳海軍工廠製鋼部			野村健彦
東京市下谷區谷中天王寺町三十四番地			池永雅之助
金澤市裏安江町一三七			黒田馨
新潟縣長岡市長町一丁目一七〇二			石澤命春
大阪市西區江戸堀北通五ノ八三吉田方			成田孝平
福岡縣八幡町枝光宮ノ上			野本新八
大阪市東區森ノ宮東ノ町五百三十三番地			三木善太郎
退會 申出承認せられたるもの左の如し			
准會員 江口作市	准會員	嶺脇秀徳	准會員 村上英男
被下度候			
鈴木武司	佐々木重雄	柳	明一